

平成29年度 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練 実施方針(案)

合同防災訓練の実施方針(案)

合同防災訓練の目的

関係機関の防災担当者が一堂に会し「顔の見える関係」を構築するとともに大規模土砂災害発生時において、各機関が実施する防災行動、関係機関における情報共有・連携のあり方について確認・検証し、防災対応能力の向上を図る。

平成29年度合同防災訓練概要

- ①開催場所: 白川村内(鳩谷体育館を予定)
- ②開催時期: 平成29年10月下旬(予定)
- ③主催者 : 神通川・庄川上流域
大規模土砂災害対策連絡協議会
- ④災害発生の誘因: 地震 + 地震後の降雨
- ⑤想定災害: ・同時多発土砂災害
・河道閉塞(天然ダム)
・地すべり

訓練のポイント

地震を誘因とした前触れのない突発的な土砂災害及び地震発生後の降雨による土砂災害に対する各機関の防災対応と連携内容の確認実施。

⇒平成28年度第3回幹事会(H29.1.10)後の意見照会を受け修正した連携マニュアルの検証及び見直し検討

- ①情報収集・共有体制の確認
- ②法改正(土砂災害防止法、災害対策基本法)に基づく各機関の対応確認
- ③連携マニュアル(案)の確認と検証
- ④事前防災行動計画(案)の確認と検証



平成28年度合同防災訓練の実施状況

平成28年11月9日(水)に合同防災訓練(大規模土砂災害)を実施(場所: 飛騨市古川公民館2階大会議室)
⇒台風接近に伴う豪雨により、飛騨市、高山市、白川村の各地域で同時多発的な土砂災害(土石流、がけ崩れ、地すべり、河道閉塞)が発生することを想定し、解説者付学習型訓練方式で総勢49名の参加にて実施。
⇒開会にあたり神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会を代表して、都竹 飛騨市長より挨拶があり、全国防災協会の災害復旧技術専門家 高橋洋一氏より訓練時の解説、訓練終了後に講評いただいた。

土砂災害の広域・同時多発



想定する災害



飛騨市長の挨拶



災害復旧技術専門家の
技術指導・講評

訓練実施状況



【参考】解説付学習型訓練の概要①

「進行者」は、想定した災害シナリオに基づいた状況説明を行った上で、「訓練参加機関」にその対応について様々な質問をし、「訓練参加機関」は「回答」を行う。この繰り返しで訓練は進行する。災害の特定の部分（局面）を取り出して質疑を行うので、実時刻に基づいた進行とはならない。「進行者」は、ある機関の「回答」や場面に応じ、他機関への質問や、各ステージの最後で内容の総括等を行う。

進行者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部、もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに質問する。



「〇〇で大規模な崩壊が発生し、△△の状態になっている。」との報告が入りました。あなた方の組織では、どのような行動をとりますか？

回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答する。

訓練参加者

質問内容に応じて、訓練参加組織内での回答者を決め、発表を行う。



私たちの組織では、〇〇を第一に考え、□□を行います。

回答者は与えられた設問に対して、その場で考え、すぐに回答する（周囲から助言をしても良い）

他機関への質問

A市さんは、まず〇〇を手配するとのことでしたが、B市さんはいかがですか？



A市では、〇〇を手配します。

A市 B市

- 特定の機関に限らない訓練が可能となる。
- 各場面において、複数機関の対応を、参加者全員が見て考えることができる。

【参考】解説付学習型訓練の概要②

今回の訓練では、「進行者」の他に「解説者」を配置する。各ステージの最後で内容の総括等を行う。各ステージの総括や解説は、必要に応じて「解説者」も行う。

訓練中の解説

良い質問ですね。
〇〇のような場合には、××に関する対応や、また■ ■といったことにも留意する必要があります。
△△の組織では、他にも●●といった対応も重要では無いでしょうか。

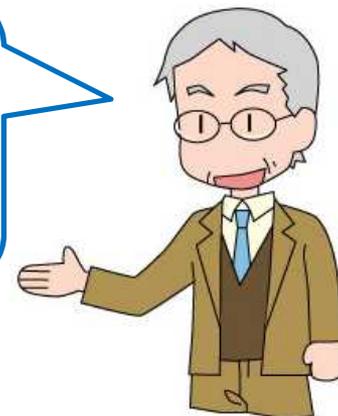
〇〇のような場合には、どのような点に留意すれば良いのでしょうか？



- 対応行動の留意点等について、適切な局面で詳細な解説を行い、参加者の理解を深めることができる。
- 疑問に感じた点をその場で解消することができる。

ステージの総括

このステージのポイントは××といった点でした。
●●の対応は非常に良かったと思います。また、▼▼ということもあわせて実施することも考えられましたね。



- その場ですぐに対応を振り返ることができる。
- 回答の無かった対応方法や内容についても認識することができる。